

## 議 事 要 旨 (公開用)

- 件 名 令和3年度第1回月形町義務教育学校設置審議会
  - 日 時 令和3年11月2日(火) 午後4時25分～5時30分
  - 場 所 月形町役場 大会議室
  - 出席者 委員：8名(別紙のとおり) ※ 欠席：1名  
教育委員会：古谷教育長ほか4名  
※ 教育長途中退席
  - 傍 聴 1名
- =====

### 1 開 会

【開会：教育次長】

### 2 委嘱状交付

教育長より委嘱状交付

※ 委嘱状は、新型コロナウイルス感染症予防のため、机に事前配置

### 3 教育長挨拶

【挨拶：古谷教育長】

- ・ お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。  
ただいま、これから審議をいただきます本町の義務教育学校の設置につきまして、皆さまに委員をお願いする委嘱状を交付させていただきました。
- ・ この計画につきましては、既に新聞報道等でもご承知のことと存じますが、少子化という時代の流れの中で、本町におきましても、現在、小学生が81名、中学生が42名という中で、今後におきましても、大きな変動は見込まれない状況にあります。むしろ、減少傾向が続くのではないかと予想されるところでございます。
- ・ ご承知のとおり、かつては本町にも小学校5校、中学校2校がございました。それぞれの学校が競うように地域の特色を生かした学校づくりを進められてまいりました。しかし、学校統合が進み、平成24年に札比内小学校の月形小学校への統合を最後に、それぞれ小中1校となりました。  
小中それぞれ1校となった今、小中学校を統合し義務教育学校とすることで、コンパクトで効率のよい学校づくりを進め、同時に義務教育9年間を見通した教育課程を編成することにより、子どもたちにより質の高い教育を提供し、学力を向上させたいと思います。何より学校に活気をつくるために、例えば、学芸会と学校祭を一緒にする、運動会と体育

大会を合わせるなど、地域の皆さま全体で学校行事に参加し、学校を盛り上げていただき、地域とともにある学校づくりを進めていきたいと考えているところでございます。

また、全国的な課題でもありますPTA役員のなり手不足という面におきましても、保護者の皆さまの負担軽減に資するものと思うところでもございます。

- ・ そうしたことを踏まえまして、今回、保護者、学校、子ども園、素より地域の皆さまにも、この審議会委員に加わっていただき、教育委員会が策定いたしました基本方針をたたき台として、本審議会に諮問をさせていただきました。皆さまの忌憚のないご意見と慎重なご審議の中から、私たちの気づかないところをご指摘いただきたいと思いますと考えているところでもございます。
- ・ 学校は、未来永劫続くものであり、本町にとりましては、大変大きなプロジェクトでございます。より良い学校づくり、そして、夢のある学校づくりのため、皆さまのご理解とご協力を心からお願い申し上げまして、ご挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

#### 4 委員紹介

【進行：教育次長】

- ※ 委員及び事務局紹介
- ※ 審議会条例説明

#### 5 会長及び副会長の選出について

【会長選出】

【進行：古谷教育長】

- ● (古谷教育長) 会長が選出されるまでの間、私の方で進めさせていただきたいと思いません。

会長選出方法について、お諮りをさせていただきます。どのように選出をしたらいいかご意見をいただきたいと思います。

- (山下委員) 今回、この審議委員会は、町民の皆さまと協議をしていくということがありますので、町民の代表である行政区長さん、更にその代表である竹田代表さんに、ぜひ、公平な目線で審議を仕切っていただきたいと思いますと考えますので、竹田さんを推薦いたします。

- (古谷教育長) ありがとうございます。ただ今、山下委員から竹田委員に会長をお願いしたいというご推薦がございました。私からもお願いしたいと思います。竹田委員は、いろいろな会議のまとめ役をしておりますし、また、中学校のPTA会長も経験があります。更にまた、ご息子が教職に就かれて、岩見沢の中学校で教頭先生をされているというところで、学校事情にも精通されているということでございます。

皆さまの拍手をもって、承認をいただきたいと思います。よろしいでしょうか。

○（全員）※拍手

●（古谷教育長）ありがとうございます。それでは、竹田絃一様に、この会議のまとめ役である会長をお願いしたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げたいと思っております。

○（竹田会長）一言ご挨拶を申し上げたいと思っております。私もこのように見ますと一番年上ということで、このようになったのかなと思っております。実は、先般いただいた資料の基本方針の中で、2頁にある「昭和30年当時は」、小学校6校、中学校1校、小中併置校が2校ということで、人口や児童生徒数も一番多かった世代です。私もまさに生まれも育ちも月形だったものですから、この当時のことはよく知っております。

私たちも思い出しますと、私は月形小中学校でしたけれども、炭鉱や亜麻会社もありました。一部の記憶では西美唄の方からも生徒が来ていたということで、一学年が4学級、一クラスが50人くらいで、教室の隅から隅まで机を並べていたこともありました。今、このように時代の流れとでもいいますか、各学年が十数名になったということは、私どもも想像していなかったことですが、現状はこうなったということでございます。教育長からも話のあったとおり、今後の課題として義務教育学校がどうかということで、皆さんに今後、審議していただくこととなりますので、いろいろな意見をお寄せいただいて、前向きに考えていきたいと思っております。よろしく申し上げます。

#### **【副会長選出】**

**【進行：竹田会長】**

- ○（竹田会長）副会長の選任ということですが、どのような選任方法がよいかお諮りしたいと思います。
- （竹田会長）皆さん、立場が違う方がお集まりなので、なかなか分からない面もあるかと思っております。私の方から指名させていただいてもよろしいでしょうか。
- （全員）はい。
- （竹田会長）中学校のPTA代表の東出委員に副会長をよろしくをお願いしたいと思います。
- （東出委員）分かりました。よろしく申し上げます。
- （竹田委員）どうぞよろしく申し上げます。それでは、副会長は中学校PTA代表の東出委員をお願いしたいと思います。

## **6 諮問**

**【進行：教育次長】**

- ※ 古谷教育長より諮問書を読み上げ会長へ手渡し
- ※ 諮問後、古谷教育長退席

## 7 協議事項

【進行：竹田会長】

### (1) 義務教育学校設置検討に関する基本方針について

【説明：教育次長】

別添1「基本方針」に基づき説明

(P-1)

- ・ 小学校及び中学校施設

ともに築40年以上を経過

児童・生徒数は建設当時と大きな開きがあり、施設の有効活用ができていない状況

(P-2)

- ・ 炭鉱のあった昭和30年代の人口が最も多い

(P-3)

- ・ 英語教育

現在、中学校教員が小学校へ乗り入れ指導を実施

- ・ 教職員数(表)

校長1名減分は、教頭、副校長で配置可能

→ 本町としては教員を1名増とし、教員22名に含む

(P-4)

- 4・3・2制の区切り例としている背景

- ・ 6・3制が導入された昭和20年代から子どもの身体的・精神的な成長が2年程度進んでいると言われている

- ・ 7年生(中1)への円滑な移行に有効

(P-6)

- ・ 学童保育所

H21より交流センターに設置

(P-7)

- 令和4年度予測児童生徒数の場合

前期課程＝小学校設置基準を用いる

後期課程＝中学校設置基準を用いる

(P-8)

- ・ 現在の小学校と中学校の状況

(P-9)

- ・ 義務教育学校を設置した場合の教室の利用案

- 義務教育学校(例)

- ・ 「前期・後期兼用」

小学校と中学校で共有し使用

- ・ コンピュータ教室  
一人一台端末の導入により廃止
- ・ 空き教室をできるだけ少なくし、建物の有効利用ができるように検討

【説明：主幹】

※ 小中一貫教育（義務教育学校）について

次第・資料に基づき説明

（P－5）

- ・ 管内では、砂川市、長沼町も義務教育学校の設置を進めている。  
岩見沢市も小中一貫教育を進める報道あり
- ・ 別添「参考」は、文部科学省のHPに掲載のもの  
詳しい資料となっており、疑問がある場合など、都度、参照いただきたい。
- ・ 次回より、本町の現状を踏まえ、審議をお願いしたい。

【質疑・意見など】

- ○ （竹田会長）ただいま、事務局より基本方針について詳しい説明がありました。基本方針の中では、現在、小学校6年、中学校3年ということで、それぞれ小中学校が別な形の義務教育の制度となっています。この小中学校を一緒にして、義務教育学校を新たに設置したいという考え方で、従来の月形のやり方からすると教育界も大きな曲がり角といえますか、画期的な考え方になると思います。それらについて、今説明をいただきましてけれども、皆さんから何か、ご質問、ご意見等があれば、お聞きしたいと思います。いかがですか。
- ○ （東出委員）私自身、複式の中和小学校の出身で、当時、小中一貫校で札比内がありました。義務教育学校というのは、あまり知りません。今の説明を聞いた中で、義務教育学校になった場合、7、8、9年生の制服の扱いはどのようになりますか。中学生なら学生服やジャージがあります。義務教育学校になると、その境目というのは出てくるのでしょうか。それとも、独自のやり方があるのか、分からないので教えてください。
- （教育次長）これからの協議になっていくと思います。例えば、「義務教育学校を設置します」ということになったときは、PTAの部会など、いろいろな部会を作って協議をしていかなければなりません。その中で、制服を使うか使わないかということも協議をしていきます。いらないということになれば、うちの義務教育学校については、制服は使わないという形の設置もできると思います。今後の協議の進み方によって、対応が変わっていくと考えています。
- （東出委員）これからの協議で、その辺は、自分たちの考えというか、設置の考え方で決められるということですね。
- （教育次長）はい、そうです。

- ○ (東出会長) もう1点ですが、入学、卒業を人生の節目として、お爺ちゃんやお婆ちゃんも楽しみにしています。義務教育学校になると、入学式や卒業式はないという形ですか。
- (教育次長) いろいろなところで、いろいろなやり方があります。卒業式のような行事を中間に入れる形もあります。今言われたように、1年から9年までとなると、入学と卒業という仕切りが一回しかないということで、途中に入れるということをやっている学校もあります。そのようなところも今後、決めていくことのできる内容と思っています。
- (東出委員) ありがとうございます。がちがちに決まっているものだと思っていました。いろいろと自由に協議ができるということだったので、ありがとうございます。
- ○ (竹田会長) 教育現場の方から箕田委員どうでしょうか。教育現場から考えられることで、何かご意見があれば。
- (箕田委員) 話が始まったばかりですので、月形町のビジョンを踏まえて、町民の皆さんの納得のいく形で進めていただければ、よろしいのではないかと思います。時代の趨勢としては、義務教育学校というのは、今後の新しい学校のあり方として、先ほど事務方から説明のあったように、導入が進んでいるということもあります。メリット・デメリットを考えながら、ご審議いただくことがよろしいのではないかと思います。
- (竹田会長) ありがとうございます。
- ○ (竹田会長) もしも、これが実施された場合、ゆくゆく当事者の父母になるだろうと思います。子ども園の代表の方、堀委員、鈴木委員、何かご意見があれば。
- (堀(美)委員) 説明を聞いて、まだまだ分からないことがたくさんありますし、いろいろとこれから協議していくと思っています。説明を聞いて、メリットもデメリットも両方ある中で、メリットがとても大きいと思う部分と、劇的に子どもが増えていくこともないと思いますし、やはり未来の子どもたちのことを考えたら、こういう方向はすごくいいのではないかと期待しています。デメリットの部分をメリットで補えるような、すてきな教育にしていってもらえたらいいと思っています。他の市町村で行っているいいところを取り入れる部分もあると思います。そのような視察などは行っていますか。
- (教育次長) この協議が始まってから、新型コロナの関係がありまして、視察に行けたところは歌志内の学校だけです。今回の設置審議が進み、仮に「義務教育学校を導入します」という話になった場合は、先ほど申し上げましたように部会などで細部の検討ということが出てきます。どのような形で協議を進めていくかというのは、まだ、決まっていませんけれども、そのような部会の方たちで先行事例を見に行くということも、できるのではないかと考えております。今現在の私たちとしては、歌志内の1校しか見ておりません。今後、コロナの関係が終息しましたら、他のところも見に行けるのではないかと考えています。

- (竹田会長) 将来に当事者となられる父母の方たちについては、先行されている地域の情報等をお聞きしたいですね。
- ○ (竹田会長) 松浦委員の方から何かありますか。
- (松浦委員) いいえ、特にありません。期待しております。
- ○ (竹田会長) 皆さんからいろいろご意見をいただきましたけれども、義務教育学校の基本方針について、承認させていただいてよろしいですか。
- (全員) ※意義なし
- (竹田会長) 第1号の基本方針については、承認されたということをお願いしたいと思います。

## (2) 審議会開催スケジュールについて

【説明：教育次長】

(P-7)

- ・ スケジュールは予定であり、そのとおりにいかない場合もあります。  
委員各位の意見を尊重して審議を進めたい。  
審議についても、慎重に進めていきたい。

【質疑・意見など】

なし

## (3) その他

【説明：主幹】

- ・ 次回の開催は、今月下旬を予定  
会長と日程を打合せのうえ、別途、案内をさせていただきます。  
開催時間については、今回と同様 ※各委員より希望なし

## 8 閉 会

【進行：教育次長】

【挨拶：竹田会長】

- ・ 今日、お集まりいただき、ご審議いただきましたこと、お礼を申し上げたいと思います。今日は、第1回目ということで、教育委員会の方から基本方針をお示しいただきました。我々も具体的な中身については、承知をしていませんでしたけれども、次回から具体的に少し話を深めていきたいと考えています。今後とも一つよろしくお願ひしたいと思ひます。本日は、大変どうもありがとうございました。

(終了：午後5時30分)

## 令和3年度 第1回月形町義務教育学校設置審議会

■開催日：令和3年11月2日

■任期：R03.11.02～R04.11.01

No	役職	氏名	所属等	出欠	備考
1	会長	竹田 紘一	月形町行政区連絡会議	出	
2	副会長	東出 敏幸	月形中学校PTA代表	出	
3		津坂 佳史	月形町行政区連絡会議	欠	
4		堀 誠哉	月形町行政区連絡会議	出	
5		松浦 朝太郎	月形小学校PTA代表	出	
6		堀 美百紀	月形町認定こども園花の里こども園保護者代表	出	
7		鈴木 智穂	月形町認定こども園花の里こども園保護者代表	出	
8		山下 正志	月形町校長会	出	
9		箕田 裕	月形町教頭会	出	